

# 生活支援体制 整備事業だより

R4第5号 令和5年1月発行

遠賀町社会福祉協議会

☎293-0430

(担当 三根・矢野・曾川・安増)

## 浅木校区協議体

### 浅木 SAN・AI

《第6回浅木校区協議体の流れ》

1. これまでの振り返り
2. 生活支援コーディネーターの活動報告
3. 具体的なベンチ作りの計画を練ろう！
4. 今後の流れについて



今回は、具体的なベンチのかたちやサイズ、作り方などについて話し合いました。背もたれの必要性の確認や座面の幅やベンチの高さはこれで良いかなど、実際に作ってみて検討する余地が多々ありそうということから、まずは協議体メンバーで試作品を作ってみることが決定！3月25日（土）実施の次回協議体でベンチを2台作成します。当日は、動きやすく、汚れても良い恰好をお願いします。

ベンチの設置を希望している「浅木区」と「木守区」には、試作の結果をみて声掛けを進める方針です。

## 認知症研修会に参加していました

### 7月9日（土）PM



協議体の話し合いの中で、認知症高齢者に関して、接し方や地域での取り組みなど、話題にあがります。そこで、我々、第2層協議体コーディネーターは「認知症世界の歩き方」研修会に参加してきました。春日市クローバープラザで開催された会場には人が溢れ、研修会内容に期待が膨らみました。認知症をどのように捉え、理解していくかをDVDとカードを使い、解説を交えながら分かりやすく進められました。DVDは、認知症の方が、外界をどのように見聞きし、感じているのかをアニメーションで紹介、例えば、溪谷が映し出され、その後、白い霧で溪谷は消えてしまいます。つまり、今見たものさえ記憶にとどめておくことができない。短期記憶障害を表しています。カードはそのことで起こる困りごとが書かれていて、その困りごとを会場の人々で探すといったレクリエーション活動を通して「認知症」について学びました。

# 開催案内！！！！

## 3月4日（土）10:00～ 生活支援体制整備事業全体会

生活支援体制整備事業・・・住民が主体的に共に支え支えられる関係性を大事に、心豊かな地域になるよう全国で展開されている事業です。今回、全国を飛び回って活動を指導し、先駆地の紹介も行っている **酒井 保 氏**「ご近所福祉クリエイター」を招いて、お話いただきます。

## 支え合いのまちを目指して **講演会**

当日は、遠賀町内のお宝（地域の中でのお互い様）の活動紹介と3校区協議体の活動進捗状況の報告も合わせて行います。



ご近所福祉クリエイター  
酒井 保 氏

### 《プロフィール》

1961年広島県生まれ。知的障害者施設、社会福祉協議会、認知症グループホーム・小規模多機能施設長などの勤務を経て、2014年8月に「ご近所福祉クリエイション」を創設（主宰）。

現在「ご近所福祉クリエイター」という肩書のもと、広島、仙台を拠点として全国を講演行脚。NPO 法人全国コミュニティライフサポートセンターアドバイザー。イラストレーターとしても活躍中。

3月4日（土）に予定しています「生活支援体制整備事業全体会」の講師として、「ご近所福祉クリエイター 酒井 保」氏をお招きすることが決まりました。

現在、開催に向け、準備を鋭意努力中です。

今回は、三校区から「地域のお宝」発見ということで地域で福祉活動が行われているグループの活動発表もあります。

皆さん、お忙しい時期とは思いますが、是非、ご参加くださいますようお願い致します。